

9月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 15.0km~21.0km
			管轄出張所: 岡崎・安城出張所
実施日	令和 4 年 9 月 16 日	実施区間	16.0km ~18.0km

水量も多く、穏やかな流れ

3回目のモニタリングは18.0km地点の美矢井橋付近から、先回とは反対側の矢作川右岸に入り、下流に進みました。17kmあたりから歩き、堤防と河川敷を視察しました。

当日の矢作川は水量も多く、ゆったりと流れていました(①)。新幹線が通る矢作川橋梁の近くをよく見ると、黒い袋の土嚢(?)が並べてありました。崩れ防止なのか、草地の拡大防止なのか、いずれにしても、何かの対策なのでしょう。ビニルなので、劣化して破れる心配はないでしょうか(②)。

そこから、やや上流に戻った河川敷には、動物のコンクリート像がある公園がありました。周辺の整備は大変だと思いますが、心休まる気がします(③)。



① 水量豊かな矢作川



② 黒い土嚢で対策

土のうは暫定的な対策として設置している物です。

テニスコートに驚き

さらに上流に進むと、テニスコートが2面ありました。いわゆるコンクリート面のハードコートです。

テニス愛好家として、ここにコートがあるとは驚きでした。ただ、残念なことに、コンクリートの表面がひび割れ、雑草が生えていました(④)。

管理が難しいのだと思いますが、何か手が打てないか、あるいは、他への転用を考えるべきかなのか、判断が難しいと思いました。

余談になりますが、この辺りで安城桜井公民館の地域イベント「筏下り」が8月に予定されていましたが、20回目のファイナルイベントでしたが、前日までの降雨で水量が増し、残念ながら、中止でした。



③ 心安らぐ、動物の像がある広場



④ テニスのハードコートが2面 ひび割れも